



# ぼらんていあ通信

4月号  
通巻 No.497

発行 / NPO法人 相模原ボランティア協会 2023年4月25日

連絡所 〒252-0236 相模原市中央区富士見 6-1-20 あじさい会館・中央ボランティアセンター内

TEL/FAX: 042-759-7982 Eメール: sagamiva@feel.ocn.ne.jp HPアドレス: https://sagamiva.info/

## ボランティア見本市「part2 新しいボランティアのかたち 活動状況とそのようび」

### ボランティアを生き甲斐に充実した暮らしを!



去る3月25日(土)午後2時~4時、あじさい会館6階展示室にてSDGsをキーワードにしたかたちのボランティア活動をしている5つのグループの経験者を招いて講座が開催された。高橋会長は「あいにくの天気で足元の悪い中、お集まりくださったありがとうございます。高齢化社会にいる私たちは、70歳になっても20年30年まだ先があります。ボランティア活動をする、元氣や活力がもたらえますので、ぜひ参加していただきたいです」と挨拶した。

#### 【項目】

- (1)SDGsとボランティア活動
  - (2)テキストの音声化、音声のテキスト化で情報伝達をユニバーサルデザインする
  - (3)フードドライブを支える市民の活動
  - (4)日本語教室ボランティアの役割と目指すもの
  - (5)災害時のボランティア受け入れを市民の手で
  - (6)ひとりでは外出が困難な方へのハンディキャップ活動(福祉車両活動)
- ★終了後に個別懇談会がある、活動の実際を聞くことができました。



#### 【内容】

- (1)榎本幸二さん(市SDGs推進課)のお話から

「SDGsの達成度の高い国は幸福度が高い」と言われている。しかしまだ、SDGsが十分に知られておらず、



周知してもらう必要がある。我々は、環境に配慮

した生活を送る地球を救う機会を持つ最後の世代になるかもしれないことを肝に銘じて。

- (2)田嶋いずみさん(NPO法人「こまっとう理事長)のお話から

一丁の活用で、聴覚障がい者のためには字幕を、視覚障がい者のためには音声ガイドを作成し、ユニバーサル社会の実現を目指す!

\*UDトーク(主に聴覚障がい者のコミュニケーションを行うためのソフトウェア)や携帯電話を使って会話を即座にテキストに。Zoomでも運動)

#### 参加者募集!

### パレードに参加しよう!

相模原市民若葉まつりでは、当協会もハンディキャブ号2台とセダン車を伴いパレードに参加しPR活動を行います。

日時: 5月14日(日) 午前10:20集合  
集合場所: 16号線から1本市役所寄りの道路

会員の皆さま  
参加をよろしく  
お願いします!



\*ナビプロ(GPS)を利用して視覚障がい者の移動を支援するアプリで、曲がり角や横断歩道を振動、音で道案内してくれる。

\*ナビプロ(各所に貼られている二次元QRコード)を読み込むことで、目的の内容・方向・距離などの案内が表示されることも音声で読み上げしてくれる移動支援アプリ

#### 連絡先

042-745-0076 田嶋さん

(3)中臺博さん(フードコミュニティ代表)のお話から

余剰品(食品、衣料品他)を集め、必要としている人に提供する活動をしている。いよも食費、生活困窮世帯への食料支援など、食品ロスと食いよの格差をなくすことを目標



に取組んでいます。それぞれの日程で、活動可能な時間でフードコミュニティの活動に参加してください。

④ 荒明美奈子さん（日本語ボランティア連絡会）のお話から  
\*連絡先 070-4488-4094 中島さん

現在、相模原市に住む外国人は1万人を超えています。一番困るのは何かと尋ねると「日本語」です。時間の制約があり日本語学校にいけない人のために、ボランティア団体が文化を押し付けられないように気をつけて、同じ市民として仲良く暮らせるよう言葉を守っています。色々な国の人と話せるのが何より楽しい。

\*問い合わせ さがみはら国際交流フロンツ 042-7500-4150

⑤ 小野寺弘さん（相模原災害ボランティアネットワークのお話から）  
\*代表のお話から

災害時、市社協協力してボランティアセンターを立ち上げボランティアの仕方が仕事。

平成19年の台風により市内緑区で起きたがけ崩れは、ボランティアの活動が記憶している人もいます。災害ボランティアの心得は、災害地に負荷をかけるなという自分の生活上必要なものは自分で揃えること。生活支援ボランティア（建築関係）ボランティアが求めらる。

⑥ 加藤修さん（NPO法人相模原ボランティア協会のお話から）

自力では移動困難な人などの通院、買い物などにICカード（福祉車両）の運行で支援しています。利用者は会員登録、2か月前から1週間前までに申し込みが必要がある。ボランティア運転者には免許返納後に

自分が利用できるポイント制度がある。

ボランティア活動に携わっている経験者の話しは、具体的にかつ楽しくやっている様子があつた。果たして何人の方が実際の活動に飛び込んでくれるだろうか。（山崎）

岸 千枝子さん

ありがとうございます！



運動が大好きだったので、運動ボランティアがあることを教えてもらい、2年前に協会に入会しました。初めての所は下見をするなど、下準備をしましたが、でもこの緊張感が好きでした。利用者さんとお話をしたり、また道を覚えたりと楽しい2年間でした。活動できたことにいつも感謝しています。

これから自分ごとをいっしょにやります。自分ごとをいっしょにやります。自分ごとをいっしょにやります。



岸さん（中央）と事務局員の皆さん 感謝状と花束を贈呈！

これからもお元気で活躍ください。

5月の記念日は？

小倉義男

5月5日、薬の日です。全国医薬品小売商業組合連合会が1987年に制定。611年（推古天皇19年）のこの日、推古天皇が大和の菟田野（うたの）で薬草を採取する薬狩りを催し、これから毎年この日を「薬日（くすりび）」と定めたという故事にちなむそうです。この日は、こどもの日だけではないんです。小倉画



高齢者移動支援推進モデル事業成果報告会

3月22日 あじさい会館

小野 明雄



市の推進するモデル事業の報告会に参加しました。買物やお出かけを支援する地域住民参加型の支援事業で、先行実施地区とモデル事業推進地区の報告がありました。地域の実情の違いから、地域独自の工夫があり、事業継続のために努力をされているのが良かったです。

事業推進のためには地域内の老人福祉施設の車両の提供、ボランティアでの運転者の確保と事務局活動が課題となっています。

当協会でもハンディキャップ事業の運転ボランティアの確保が課題となっていますが、地域の活動での運転ボランティア参加を考えると、当協会の魅力をもっと発信しないこの事業と競合するのは心配になりました。

私も先行地区の「光が丘買い物お助け隊」に受付係として参加しています。





桜と「にこまる」がお出迎え

「にこまる」が桜と一緒になって会場を盛り上げてくれました。...

市内イベント訪問記

市内イベント訪問記

10周年を迎えた

南区地域福祉交流ラウンジ

楽しく記念式典！



3月25日(土) 相模大野第一ノ2階南区地域福祉交流ラウンジで設立10周年記念イベントとしてラウンジがくまっぴりが開かれた。

桜の花が見えぬを迎えていながらあじいづくの冷たい雨。それでも会場の交流ラウンジには大勢の人が10時の開会を待っていた。

テーマは「くまっぴり何だろう...」を一緒に考えようだった。...

続いて長年活動している「にほんごの会」による研修生でカンボジアとインド出身の方3名による素晴らしいスピーチ。...



南京玉すだれの出前道芸



ボランティア協会の活動紹介

\*南区地域福祉交流ラウンジ 電話 042-701-3388

クイズの答え

①子ども用車いすマーク

「子ども用車いす」は、社会的な認知度がとても低く、その外観からベビーカーと認識されることが多いのが現状です。

「子ども用車いす」は、これがないと移動できない子どもたちが使用しています。

②聴覚過敏保護用シンボルマーク

苦手な音を防ぐためのイヤーマフ(耳当て)や、聴覚過敏対策の「保護具」を使用していることを表すマークです。

\*聴覚過敏とは、会話をしている相手の声と周囲の環境音が同じ大きさで聞こえてしまったり、とても苦手な音があったりする症状です。



子ども車いす



苦手な音を防いでいます 聴覚過敏保護用

①

これはなんのマークでしょうか。

②

クイズに挑戦

理事会報告

4月8日(土) 定例理事会(理事8名出席)

1、報告事項

◆広報委員会

・ぼらんていあ通5月号の会員更新のための会費振込用紙を同封する作業を行った。

・さがみはら若者サポートステーションから4名参加。

◆講座検討委員会

・5月25日に開催した春講座には25名の参加があった。

・夏講座に向けての準備を行っている。

◆傾聴委員会

・傾聴活動PRのためのチラシを1000部作成し、4月中旬までに、包括支援センターや社協事務所、居宅介護支援事業所(ケアマネ)などに配布する。

◆DVD制作実行委員会

・「共に歩く仲間たち」を制作中。

◆役員選出管理委員会

・2023年度役員選出選挙の開票結果報告があった。

◆その他

・ほかほからわあいフェスタ2023は10月21日(土)開催予定で、健康フェスタと同日開催となる。

・交流ホウリング大会は6月17日(土)に開催。

・「若葉まつり」にパレード・バザーで参加のため、理事にボランティア要請があった。

2、審議事項

・通常総会議案書の検討をした。

臨時理事会 4月15日(土) 10時から



臨時理事会報告

4月15日(土) 臨時理事会(理事7名出席)

◆審議事項

・総会議案書の修正

・ボツ協が抱える財政の課題について

・総会の役割分担について

◆報告事項

(1) 傾聴委員会

・傾聴のチラシを制作。市内の居宅介護支援事業所および地域包括支援センターに郵送する。

(2) ボウリング大会(6月17日開催)

・案内を送付、5月25日締め切り、6月7日細部打ち合わせ。

6月10日理事会で詳細報告する。

総会は、5月21日(日) 14時予定

次回理事会は5月21日(日) 総会終了後



通常総会のご案内

2023年度の通常総会を次の通り開催します。

正会員の皆様には開催通知と議案書をお届けします。ご出席いただけますようお願いいたします。

日時 5月21日(日) 午後2時〜4時

会場 あじさい会館6階ボランティア活動室

議事 ①事業報告 ②会計報告

③役員選出 ④事業計画案

⑤予算案

※年に一度の大切な総会です。

是非ご出席ください。

理事一同



よろしく  
お願いします

相模原ボランティア協会 5月の予定

日	時間	内容
6(土)	13:30~	HC委員会
12(金)	10:00~	講座検討委員会
13(土)	13:00~	市民若葉まつり・福祉バザー
14(日)	10:00~	市民若葉まつり・福祉バザー・パレード
16(火)	10:30~	広報委員会・ぼら通部会
20(土)	13:00~	事務局委員会
21(日)	14:00~	通常総会
	総会后	定例理事会
22(月)	10:00~	傾聴委員会
23(火)	10:30~	ぼら通5月号印刷・発行
29(月)	14:00~	DVD制作実行委員会

会員登録のお願い(再掲)

今年度の会員登録が4月1日から始まりました。引き続き会員登録の更新をよろしくお願い申し上げます。

あじさい連絡所または郵便振込で更新手続きができます。

ご住所等、登録内容に変更のある方は併せてご連絡ください。

事務局





子どもたちに伝えたい！福祉の心

「みんないいひと体験講座」情報交換会に参加して



杉崎 久子

市社会福祉協議会が講師の方をコーディネーターとして、学校などへ福祉教育の出前授業をする「みんないいひと体験講座」。講師は、地域の高齢の方や視覚・聴覚・手足などの障がいをお持ちの方や福祉関連の団体やNPO法人の方などが務め、ボランティア協会からもハンディキャップの講座に運転手が参加しています。小中学校の総合的な学習が中心なので、運転ボランティア講座はあまり需要がなく、私はまだ2回しか参加したことがありませんが、3月末、他の講師の方との情報交換会が開かれるこの場で勉強するために参加させていただきました。

あじさい会館の会場には出席者は総勢60名うちかく、パワーポイントに加え、手話通訳や要約筆記のスクリーンも用意され、参加者への配慮が行き届いています。

開会の挨拶に続き、市教委の学校教育課人権指導班の上田先生から『教職員の人権研修』についての話がありました。「人権教育は教育活動の基本」、中でも福祉教育については「身近な地域でのふれあいや経験・体験の蓄積によって「私に何ができるか」と考え、実際の行動に結びつけていく教育」との定義を伺い、早速ハンディキャップ講座の授業の組み立ても見直してみようと思いました。

次に市社会福祉協議会の井上さんから『福祉教育を相模原で』という題でいひと講座の詳しい説明がありました。この4年間だけでも延べ2万4千人の小中学生が講座に参加、ほかに高校、大学、企業などから依頼があるそうです。学校などの要望に合わせて講師を頼み、

地域とのつながりを育み「地域共生社会」を目指す。「当事者講師」の高齢や障がいのある方たちの授業の実践例をいくつも挙げながら、「子どもたちに何を伝えていくのか？」学校の先生

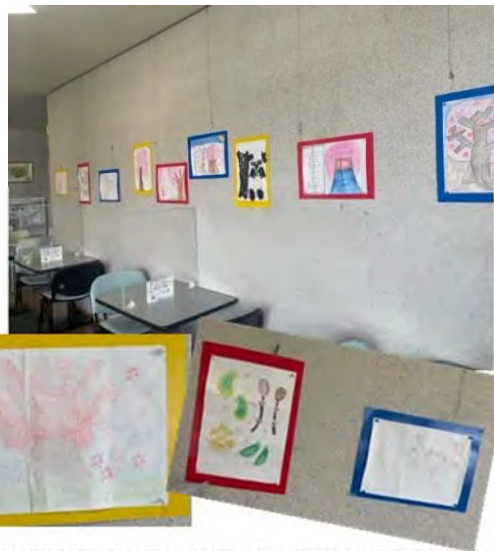
方も多忙で打ち合わせもままならない中、表面的な体験活動に終わらないように。この情報交換会の参加者へ授業の講師に向けた熱いメッセージを感じました。

後半はグループワークで6グループに分かれ、それぞれ大切にしていることと困っていることとをそれぞれに対するアドバイスの話し合いだったのですが、先輩講師の方々が多種多様の上にも多岐で芸達者。子どもたちを引き付ける工夫の話だけでなく小道具を見せてくれたりなど楽しい時間となりました。

今日学んだことをハンディキャップの講座の中に生かすことはもちろんですが、子どもたちだけでなく私たちこそ、外出困難な利用者の方の心情に気づき寄り添う気持ちをもっともって持つといいなあと感じておられたる時間でした。



街の小さな美術館



ウェルネスさがみはら3階『ふれあいヘルシーレストランあり』さんでは、ここで働いていらっしゃるヤングさんたちの作品展を開催中です。  
 ピンクの桜やつくしにタケノコや、レストランには春が満載です。



# ボランティアさん募集！

## 学習支援の場 ボランティア！



団体名 こもれび塾  
 日時 毎週金曜日 午後4時～6時 ※参加可能な週のみでの活動でも可  
 場所 西大沼二丁目自治会館(南区西大沼 2-38-25)  
 内容 小・中学生のお子さんの学習サポート  
 子どもたちの笑顔からエネルギーをもらえます！  
 現在2名体制でスタッフが少ないので、ボランティアさんのご参加をお待ちしています！  
 申込み 電話にて担当・平戸(ひらと)氏にご連絡を。  
 連絡先 090-8648-0293

《連絡・問い合わせ先》  
 相模原ボランティア協会あじさい連絡所  
 電話 042(759)7982  
 相模原市社協 中央ボランティアセンター  
 電話 042(786)6181  
 FAX 042(786)6182  
 メール svc@sagamiharashishakyo.or.jp

☆右上の二次元コードから「子どもの居場所情報サイト」が閲覧できます。他の居場所の活動情報も調べてみてください！



山口尚美画

《今月のイラスト》  
 ……ぼくはへんしん、えっつ、わたしもへんしん…

### ご寄付をありがとうございました。

皆様のご寄付は当協会の運営に有効かつ大切に使用させていただきます。

<3月の寄付者>

21名の方からご寄付をいただきました。

<3月の寄付金>

総額 39,040円でした。

### 活動をご支援してくださる方へ

当協会は認定NPO法人であり寄付金は税制の優遇措置が受けられます。

#### 【寄付金振込口座】

\*ゆうちょ銀行 記号：10230 番号：96766581

口座名：サガミハラボランティアキョウカイ

\*他の銀行から振り込まれる場合

店名：028(ゼロ二八チ) 店番：028

預金種目：普通預金 口座番号：9676658

口座名：サガミハラボランティアキョウカイ

※お振込みいただいた場合は、寄付金の証明書をお送りする(翌年初)ため下記あてご住所、電話番号をご連絡ください。

《あじさい連絡所》

TEL・FAX 042-759-7982

メール sagamiva@feel.ocn.ne.jp

#### 編集後記

雪上桜(せつじょうざくら)。先日、テレビのニュースで映し出されていて、初めてみる風景、初めて聞く言葉にびっくす。

場所は新潟県魚沼市福山峠。真っ白な雪上に、ソメイヨシノ、オオヤマザクラがピンク色に満開の花を咲かせている。なんとも言えない不思議な世界が広がっていた。雪解け前に桜が咲くと言った珍しい風景が見られるそうだ。今年は10日ほど早いと言った。菜の花と桜の組み合わせはよく見る風景だが。

そう言えば今年は、桜の開花が早いと言っていたなあ。これも異常気象のせい？(小)